

令和４年度第１回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和４年５月２１日（土） 午後１時３０分 ～ ３時３３分	
開催場所	加茂文化センター	
担当議員	班代表者	炭本 範子
	司会者	玉川 実二
	報告者	山本 しのぶ
	記録者	大角 久典、酒井 弘一
	班員 (上記以外)	倉 克伊
参加人数	１６人	
主な質疑・意見等	Q：３月定例会で提案された「介護施設の人員配置基準の引き上げを求める意見書」、「保育所等の最低基準と保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書」に反対した理由は。特に、本市は子どもがすごく増えている地域でもあり、保育士の賃金も低いのでは。 A：２月に国から９０００円の引き上げが出されたところであり、今回はその動向を見ていくことで反対した。 A：提出者の意見としては、この意見書で国に求めている人的配置や床面積等に対する反対理由にはなっていない。 Q：議会だよりの記事の中で、工事請負契約の落札金額が同額となっていることについて、行政の答弁が「落札意欲のあらわれである」となっているが、積算していくと額は異なり、同額はあり得ないと思う。議会として入札制度の改善を求める。 A 各業者は、精密なソフトを使用し積算しており、各社とも最低価格に近い金額を算出してくる。同額で提出されることはある。 Q：内水対策について、ハザードマップの浸水レベルを下げる対策を行っているのか。 A：内水排除については、徐々にではあるが緊急応急対策を講じている。 Q：常設のポンプ施設は増やせないのか A 設置には予算も限られており、国・府の効率のいい補助制度を活用している。 Q：下水道使用料の２０％の値上げについて、市民に負担を求めるときは、時間をかけて説明すべき。まだ、コロナ禍であり、食料品の値上げ等の物価高で市民の暮らしが大変な中で値上げは反対。	

主 な 質 疑 ・ 意 見 等	A：水道料金及び公共下水道使用料審議会でも苦渋の決断で答申されており結果を重視した。現在の事業会計の状況は、赤字経営であり、この状態をずっと後世に残すべきでなく、今の世代は今の世代で解決すべきと考えた。 また、生活が困窮されておられる方へは、減免措置を含めて納付相談を行ったり、市民への情報提供をしっかりとしていくよう付帯意見を付けた。 Q：「少子化まちづくりについて」 加茂町は、人口が減っている。特に山間部などは若い人が減り、子どもも減っている。人口問題等、過疎化の取り組みにおいて住民・企業など一体のまちづくりが必要では。 A：人口問題については、全国の問題である。中でも木津川市は全国 1 7 4 1 自治体の中で 7 番目の人口伸び率。Uターン化や山間部の開発など含めて考えていきたい。 Q：①相楽中部消防署新庁舎の建設する場所は、危険な場所であると考えるが、議員は本当にあの土地で大丈夫と考えているのか。②出張所の廃止は、住民の意見を聞いてほしい、また、宇治市や城陽市のように有識者会議を設けて進めてほしい。 A：①URが開発した地域であり、建てる場所は平地である。下水道が通っている場所でもあるので、まったく危険性はない。②今の段階で有識者会議を設けて進めるのは困難。 Q：新風コスモスの会報で、下水道使用料の表記で、結果的に 8 % 程度の引き上げといった表で示されているが、市民に正しく伝える点で問題はないか。 A：1 9 . 9 % 増で国の方針の 1 5 0 円になり、国からの交付金を受けられる点からも賛成した。今までは市民の税金で補填していた。 Q：水道メーターの更新時に、二人世帯など水道を使わない世帯は、2 0 mm 径を 1 3 mm 径に変更できないか。 A：基本的に木津川市は、2 0 mm 径を指導している。また、蛇口の数が 7 口以上は、2 0 mm 径を推奨している。敷地内へは自己負担で引いている点、水圧が下がる点を含めて変更は難しい。 Q：ごみ袋を有料にすると、減量化の効果があるとして有料化を進めたが、現実にはゴミ量が増えている。また、1 億円ほど基金が溜まっているが活用方法は。 A：温暖化対策実行計画の策定が、行われる。C O 2 の削減のために使われるように、幅広い使い方を考えている。
----------------------------	--

質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	○高齢者の移動手段を考えてほしい。 ○高齢者の運転免許証の更新の際にもっと厳しくしてほしい。 ○ワクチン（モデルナ社）接種後の後遺症はどうであったのかの調査をしてほしい。 ○入札制度の更なる改善を ○赤田川に常設の内水排除のポンプを
そ の 他 特 記 事 項	

上記のとおり、報告します。

令和4年6月3日

木津川市議会議長 森本 隆 様

令和4年度第1回議会報告会

第2班 代表者 炭本 範子